

三和電気(東京都品川区、宮崎裕二社長)などの都内の中小製造業5社は、大学生向けのインターンシップ(就業体験)「燃えるインターンシップ」を実施した。約2週間の見学や体験を通して企業の魅力や課題に気づき、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の観点から企業への改善提案を行った。

その後五つのチームまえ、1チームが1社で提案内容に分かれて各社を訪問し、工場見学などを行った。企業が既に注力しているSDGsに資する取り組みを可視化したり、課題点を洗い出して複数の策を発表した。

優勝したのはフジコに改善提案を行ったチーム。ウオーターサーバーなどを活用することによる脱プラスチックや、主力製品の材料を環境負荷の低いものに置き換えることなどを提案し、高い評価を得た。

都内の中小製造業5社

2週間のインターンシップ

参加企業は東京都中小企業家同友会に所属する三和電気、芝橋(大田区)、ムソー工業(同)、フジコン(同)、中央パフ製作所(荒川区)。順天堂大学や清泉女子大学などの1-3年生16人が参加した。初日はSD



①最終日のプレゼンテーション ②東京都中小企業家同友会に所属する5社と順天堂大などの16人が参加した

同チームの学生は「勉強したことを生かして、認めてもらえたことで自信につながった」と喜びを示した。

三和電気の宮崎社長は「製造業は廃業が増えているが、今回の参加学生は業界を引っ張る力もあるだろう」と期待した。